

リオンの 風

第98期 事業報告書

2018.4.1－2019.3.31

CONTENTS

| | |
|--|-----|
| 一目でわかる決算情報 | 1 |
| トップメッセージ | 3 |
| 特集 井上順さん リオネット補聴器の アンバサダーに就任 | 9 |
| トピックス | 10 |
| 業績の推移 | 12 |
| 会社案内 | 13 |
| 株主メモ | 14 |
| 音を科学する | 裏表紙 |



一目でわかる決算情報

決算のポイント

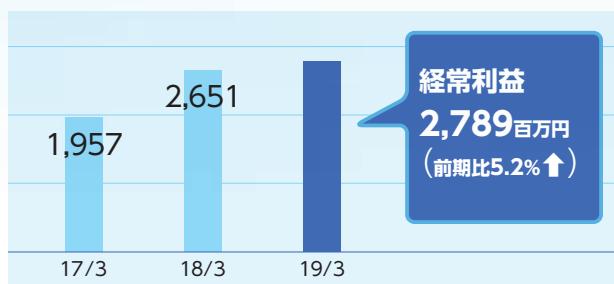
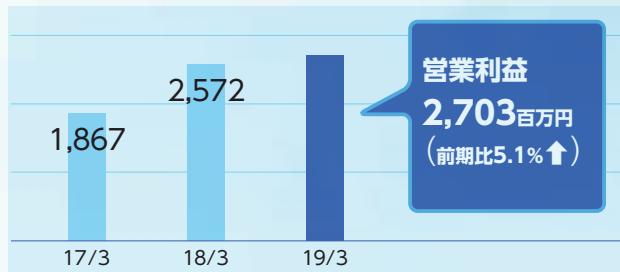
売上高・各利益ともに
過去最高を更新

医療機器事業と環境機器事業
の**販売**がともに**好調**

今後の
数値目標

2024年に
売上高**250**億円、
営業利益**15**%を
目指す

決算ハイライト



事業別ハイライト

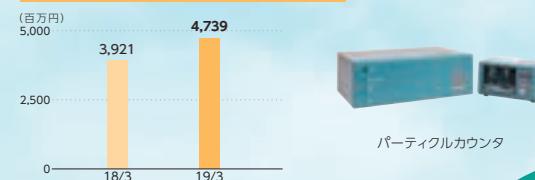
環境機器事業

45.3%

売上高 **9,648**百万円 (前期比9.5%↑)

営業利益 **1,891**百万円 (前期比14.2%↑)

微粒子計測器



パーティクルカウンタ

● 気体や液体の中に浮遊する微粒子を測定する微粒子計測器を提供しています。当期は半導体関連市場での液中微粒子計の販売が依然として好調であったため、前年を上回る売上高を達成しました。

音響・振動計測器



● 騒音計、振動計、地震計など、産業や環境に関する分野で使用される音響・振動計測器を展開しています。当期は都市部を中心とした建設工事にかかる需要が継続し、騒音計や振動計の販売が堅調に推移しました。



振動計

医療機器事業

54.7%

売上高 **11,641**百万円 (前期比0.9%↑)

営業利益 **811**百万円 (前期比11.4%↓)

補聴器



リオネット補聴器

● 1948年に日本初の量産型補聴器を発売し、70年以上にわたり国産補聴器を展開しています。当期はハイエンド機種の販売が前期に引き続き好調に推移しました。

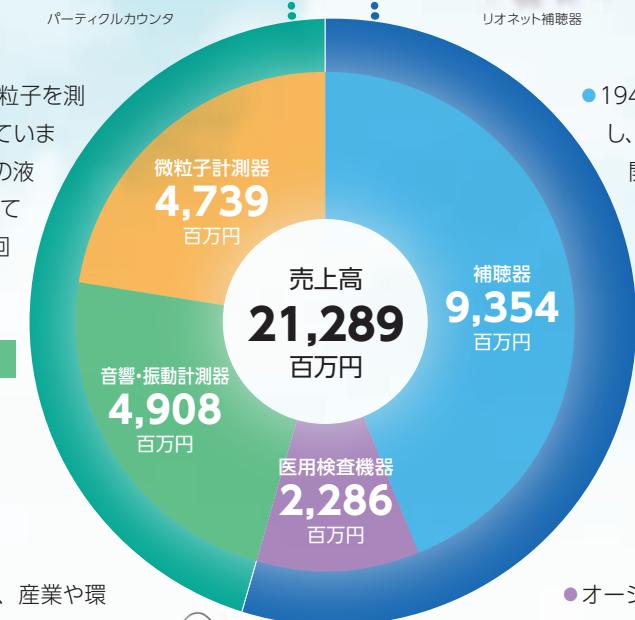
医用検査機器



● オージオメータ、眼振計、聴力検査室など、医療現場で使用される検査機器を提供しています。当期は聴力検査室の販売が伸び悩んだことなどから売上高は前期には及びませんでした。インピーダンスオージオメータは堅調な販売が続きました。



オージオメータ





過去最高の売上高・営業利益を
再び更新しました。
社会貢献の旗を掲げ、
さらなる成長を目指します。

代表取締役社長

清水 健一

企業理念

リオンはすべての行動を通して
人へ社会へ世界へ貢献する

この企業理念は、次に掲げる意義を表わす。

- 1 社会に対し"悪しきことをしない"ことではなく
"良きことをなし貢献する"
- 2 "社会貢献こそが究極の目的であり、
収益の確保と投資はそのための手段にほかならない"
- 3 "従業員が志と使命感を抱き、誇りを持って、
業務を通じて社会に貢献する"
- 4 "社会貢献の志と力量のある人材を育成し、
輩出し続ける"

経営理念

1 フォリティーオブライフ(生活の質の向上)

当社は、当社製品をご愛顧頂くお客様の"生活の質の向上"を目指して、従業員が一丸となって誠心誠意努力する

2 バリアフリー(障壁のない社会)

当社は、当社製品をご愛顧頂くお客様が"障壁"を感じることなく市民社会で活躍できる製品・サービスを提供する

3 エコ・マネジメント(環境管理)

当社は、企業の社会的責任の一環として、全事業分野において環境負荷の低減を意識した活動を実践する

通期の業績と2019年度の見通しについて、
お聞かせください。

2018年度は微粒子計測器の増収が重要なポイントとなりました。

医療機器事業においては、補聴器と医用検査機器がそれぞれ安定した業績を確保して当社全体の業績を下支えする役割を担い、環境機器事業は、音響・振動計測器と微粒子計測器が当社の業績向上を牽引した年であったと申せましょう。特に微粒子計測器は、半導体産業における生産量が減速する中でも、半導体の品質維持、生産歩留まりの向上等の観点から半導体産業にはなくてはならない計測器として、非常に大きな信頼を得ており、今後もニーズが継続すると見込んでおります。

一方で、補聴器の分野では、高齢者人口の増加に伴い、脳トレーニングなどの新しい考え方を導入しながら売上を増やし、安定した業績を確保いたしました。医用検査機器につきましても、前年の水準には達しないものの、概ね高いレベルの業績を維持しております。

利益面についても増益となりましたが、売上高の増加に伴い、新製品開発費用や販売管理費用等も増加したため、増収幅ほどの伸びはありませんでした。

2019年度につきましては、微粒子計測器事業を新たなセグメントとして分類を変更いたしますが、医療機器事業が支え、環境機器事業および微粒子計測器事業で伸びるという構造に変わりはないものと予想しております。

今後、会社が進むべき方向性やビジョンについて、お聞かせください。

パソコンに代表されるデジタル文化は、情報を扱う分野として認識され、計算や文書作成、メール機能などが中心と認識されておりました。しかし、あらゆるモノがインターネットにつながるIoTという考え方が広がり、情報だけでなく、企業の生産や販売、人々の生活にも直接影響を及ぼす分野での機能を担うようになり、近年では、膨大なデータを分析して人間のようにふるまう機能を持つまでに進化しております。

当社が進むべき方向は、製品やサービスを通して人々の役に立つこと、すなわち社会貢献を目指すことに変わりはありませんが、そのための方法として、補聴の分野においても計測の分野においても、IoT(モノのインターネット化)技術を取り入れ、AI(人工知能)を利用したサービスなどの研究を進める必要があると考えています。つまり、目的や到達点は同じでも、そこにたどり着くまでの経路や方法を色々に変えることが、最終目的である社会貢献により早くたどり着く道であると考えております。

お客様に寄り添った製品を的確な形で世の中に提供していくために、当社はデジタルの世界と現実の世界との自然な調和を探し求め、最新のテクノロジーを自然な形で製品に取り込んでまいり所存であります。

2019年4月に実施された組織改革の概要と目的について、お聞かせください。

今回の組織改革は、医療機器事業部と環境機器事業部にそれぞれ選任の技術者を配置し、専門分野だけの研究開発を行っていた従来の形を改め、

両事業部に共通する課題に対して協働して取り組むことができる組織に変えることを目的としました。そのために、全ての研究開発テーマをプロジェクト化し、事業分野が異なるメンバー同士が同じ目標に向かって力を合わせることができる組織としました。これにより、計測技術で育んだ通信の技術が補聴器に活かされたり、補聴器の小型化技術が計測器の形状に反映されるような変化を期待しております。

また、新技術の開発においても、“いくら優れた技術を用いても製品として優れているとは限らない”との立場から、技術開発センターの中に新しいビジネスモデルを企画するチームを配置することといたしました。これにより、技術立社である当社の原点は残したまま、ビジネスの観点を重視する開発体制への移行を目指してまいります。

さらに、当社では、あらゆる業務にイノベーションのチャンスがあると捉え、イノベーション推進室を設けました。これは、技術革新だけでなく、仕入れから生産、販売企画、海外展開、経理、人事に至るまで、テーマを限定せずに社内にイノベーションの

経営環境の大きな変化に対応し、事業強化、事業改革、事業創造に取り組むため、下記の組織変更を行いました。

- ✓ 開発部門の機動性を高めるため、**技術開発センターを新設**
- ✓ 事業改革を推進する組織として**イノベーション推進室を新設**
- ✓ 業容の拡大に対応するため、**微粒子計測器事業部を新設**
- ✓ 経営をサポートする部門であることを明確にするため、**事業支援本部を経営企画本部に名称変更**



風を起こし、会社を変えて行こうとする運動であり、プロジェクト体制で運営してまいります。

当社は過去最高の売上と利益を確保していますが、現状に安住することなく、次世代の経営環境の変化を見据えた体制を整えることといたしました。業績が好調な今だからこそできることに手を付け、技術のリオンの在り方を問い直すことが、今回の組織改革の狙いと目的であります。



ESGやSDGsなど、社会に対する企業の在り方が問われる時代になってきました。リオンの考えについて、お聞かせください。

近年、ESG(環境・社会・ガバナンス)や、国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)などの要素によって、企業を評価しようとする動きが投資家の間で広がっています。利益を追求するだけの企業が不祥事を起こし、社会から拒絶された事件は枚挙にいとまがありません。企業には、社会を明るくしたり、環境を改善したり、人々を幸せにする機能があるのです。投資の基準に「儲け」以外の要素を含めることの重要性に世界の投資家は気が付いたのです。

当社は企業理念に社会貢献を掲げ、早くから環境問題の解決に取り組み、事業を通じて真正面から社会に貢献してまいりました。すなわち、事業そのものがESGの考え方と同じ方向を向いており、特別にESGを意識した活動を付け足す必要がないほどであります。この姿勢は当社が75年の歴史の中で積み上げてきた理念であり、今後も揺らぐことはありません。

株主様に向けてメッセージをお願いいたします。

おかげさまで当社は今年、創立75周年を迎えることができました。当社の歴史を25年ごとに区切りますと、最初の25年間は当社技術の基礎を築いた期間であり、レコード用のピックアップやテレビに付属するイヤホンなどの部品生産を中心としながら、補聴器や騒音計を始めとした当社の中心となる製品の1号機を世に出した時代でありました。そして創立50周年までの25年間には、人工中耳の開発、微粒子計測器の開発、世界初のデジタル補

聴器の開発など、当社製品の幅が広がり、技術的にも大きく成長した期間となりました。そして、創立75周年を迎えた今年までの25年間に、当社は、東京証券取引所での店頭公開、二部上場、一部市場への指定変更を経て、過去最高水準の業績を記録するまでになりました。これはひとえに当社を応援していただいた多くの関係各位、特に株主様のご支援の賜物と感謝いたしております。次の25年間も創立100周年を目指し、社会貢献の旗を掲げながら、さらに大きく成長してまいれる所存でありますので、株主の皆さまには、今後とも熱いご支援を賜りたく、衷心よりお願い申し上げます。

株主還元に関する基本方針

当社は、株主様に対する利益還元を経営の重要政策のひとつと認識しており、継続的な配当の維持と業績に応じた配当水準の向上に努めることを基本方針としております。内部留保金の使途につきましては、企業価値の増大を図ることを目的として、中長期的な事業拡大のため、研究開発・製造設備等に戦略的に投資し、長期的な競争力の強化を目指してまいります。なお、剰余金の配当は、中間と期末の年2回実施しております。

一株当たり年間配当金の推移

(単位：円)





井上順さん リオネット補聴器のアンバサダーに就任

当社は2019年2月より、タレント・歌手・俳優として幅広い分野でご活躍されている井上順さんを、聞こえでお困りの方や補聴器装用をお考えの方へご自身の体験やメッセージを発信する「リオネット補聴器アンバサダー」として迎えました。新聞や講演で「補聴器と出会えて生まれ変わった」と度々語られる井上さんは、リオネット補聴器を愛用する補聴器ユーザーのひとりです。今後は、補聴器が豊かな人生をサポートするものであることをより多くの方に知っていただくため、セミナーでの講演など様々な活動を予定しています。

井上順さんのコメント

私は、15年ほど前に感音難聴と診断を受けました。そこで知り合った「リオネット補聴器」により、一筋の光が差し込み、新たな人生のスタートができたと感じました。難聴で悩んでいる方や、補聴器の装用をためらっている方へ、補聴器を使うことで気持ちが前向きになり、楽しい人生を送っている私の体験をお伝えしてまいります。「難聴の星」となる覚悟で活動してまいりますので、よろしくお願いたします。



リオネット補聴器との出会いについて講演される井上順さん



リオネットシリーズ マキシエンス (HI-C3AA) を装用する様子

リオネット補聴器
アンバサダー
井上順さん
特設 WEB サイト



<https://www.rionet.jp/ambassador/>

トピックス Topics

1 リオネット補聴器 新製品情報

● リオネットシリーズ プレミアンス

発売以来好評をいただいている補聴器「リオネットシリーズ」において、『プレミアンス』を2019年2月20日に発売しました。『プレミアンス』は、シリーズの核となる「リオネットエンジン」を搭載しつつ、お求めやすい価格を実現。スマートフォンアプリやワイヤレス通信に対応した機種もご用意し、幅広いニーズに応えます。



リオネットシリーズ
プレミアンス

● キャラクターほちょうき

株式会社サンリオ(本社：東京都品川区)のキャラクター「ハローキティ」と「ポムポムプリン」、リオネット補聴器の公式キャラクター「ピクシーくん」をデザインした高度・重度難聴用耳かけ型補聴器「キャラクターほちょうき」3機種を2019年2月20日に発売しました。当社は、「聞こえる」から生まれる、未来を育てたい。」をコンセプトとした『キッズ応援プロジェクト』を、2016年7月から展開しています。この『キッズ応援プロジェクト』の一環として、子どもたちに愛着を持って補聴器を使い続けていただきたいの思いから、「キャラクターほちょうき」が誕生しました。



ハローキティ デザイン ポムポムプリン デザイン ピクシーくん デザイン
©1976, 1996, 2019 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. G600891

2 微生物迅速測定法の事例報告会を開催

2018年11月7日、「微生物迅速測定法の事例報告会(主催：リオン株式会社)」を都内で開催し、日本各地から大変多くの参加者が集まりました。当社は液中における生物粒子をリアルタイムで計測する「生物粒子計数器」を世界で初めて開発・製品化し、用途拡大を目指し営業活動を展開してきました。

本報告会の目的は、当社製品を採用いただいている企業様より「生物粒子計数器」の実証報告・紹介をいただくことに加え、業界・業種の垣根を越えた人

と人とのつながりを生み出すことです。今後、当社は製薬・食品・飲料・ライフサイエンス等の分野において、更なる市場開拓を行ってまいります。



報告会の様子

3 リオネット補聴器工場 見学会の開催

当社は、対話を通じて当社および事業に対するご理解を深めていただくことを目的として、株主様向けのイベントを随時開催しています。2019年3月には、「リオンの補聴器工場を見学したい」という多くの株主様のお声を受け、リオネット補聴器を製造するリオンテクノ株式会社(本社：東京都八王子市)にて「第1回 リオネット補聴器工場見学会」を開催。多くの株主様にご参加いただきました。

見学会ではオーダーメイド補聴器のモデリング、造形や組込みなど、すべての工程をご覧いただくことができました。



顕微鏡を使った
細やかな作業を
紹介する様子

リオネット補聴器について説明する様子

参加者様の声

- あまりに細かいお仕事でびっくりしました。品質の高さが伝わりました。
- なかなか知ることのない作業工程等、詳しく説明していただき面白かったです。
- 高い技術力とお客様のための研究熱心さが伝わり、とても安心できる製品づくりと感じました。

4 環境活動の取り組み

当社では、地域環境の保全や負荷低減に向けた活動を継続的に行っています。

毎週、本社近隣の武蔵国分寺公園の管理団体と共に、公園内の落ち葉拾い・花壇の清掃・外来種根絶のための草むしり等の取り組みを実施。また、2018年12月には“あげもらマーケット”と銘打った社内イベントを開催しました。“あげる”“もらう”をテーマに従業員が不要になった品を交換しあい、社内でのリサイクル活動を積極的に推進。残った品は専門業者への買取を依頼し、環境団体等への寄付を行いました。

今後も当社は地域に根差した環境活動を実施してまいります。



公園での活動の様子



あげもらマーケットの様子

| 主な経営成績 (単位：百万円未満切り捨て) | 2015年3月期 (第94期) | 2016年3月期 (第95期) | 2017年3月期 (第96期) | 2018年3月期 (第97期) | 2019年3月期 (第98期) |
|--------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 売上高 | 18,758 | 18,859 | 19,194 | 20,350 | 21,289 |
| 営業利益 | 2,332 | 2,268 | 1,867 | 2,572 | 2,703 |
| 経常利益 | 2,413 | 2,370 | 1,957 | 2,651 | 2,789 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,427 | 1,594 | 1,408 | 1,887 | 2,002 |
| 純資産 | 15,685 | 17,039 | 17,962 | 19,572 | 21,043 |
| 総資産 | 25,691 | 25,677 | 25,919 | 27,795 | 28,476 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,457 | 2,142 | 2,168 | 1,920 | 1,664 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,183 | △ 536 | △ 562 | △ 695 | △ 756 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 588 | △ 1,274 | △ 990 | △ 816 | △ 532 |

1株当たりデータ (単位：円)

| | | | | | |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 純資産 | 1,285.48 | 1,387.86 | 1,463.04 | 1,594.19 | 1,713.99 |
| 当期純利益 | 117.47 | 129.99 | 114.72 | 153.76 | 163.14 |

主な指標 (単位：%)

| | | | | | |
|-----------------|------|------|------|------|------|
| 自己資本比率 | 61.0 | 66.4 | 69.3 | 70.4 | 73.9 |
| ROA(総資産経常利益率) | 9.5 | 9.2 | 7.6 | 9.9 | 9.9 |
| ROE(自己資本当期純利益率) | 9.5 | 9.7 | 8.0 | 10.1 | 9.9 |
| 配当性向 | 23.8 | 23.1 | 26.2 | 22.8 | 24.5 |

詳しい財務情報は当社IRホームページをご覧ください。 <https://www.rion.co.jp/ir/>

会社案内 (2019年3月31日現在)

Corporate Data

会社概要

商号 …… リオン株式会社
 本社 …… 東京都分寺市東元町三丁目20番41号
 創立 …… 1944年6月21日
 資本金 …… 20億1,461万円
 従業員数 …… 連結886名、単体496名
 事業内容 …… ○ 医療機器
 ○ 環境機器

- ・ 補聴器
- ・ 医用検査機器
- ・ 音響・振動計測器
- ・ 微粒子計測器

株式情報

発行可能株式総数 …… 32,000,000株
 発行済株式総数 …… 12,294,400株
 総株主数 …… 5,400名

大株主

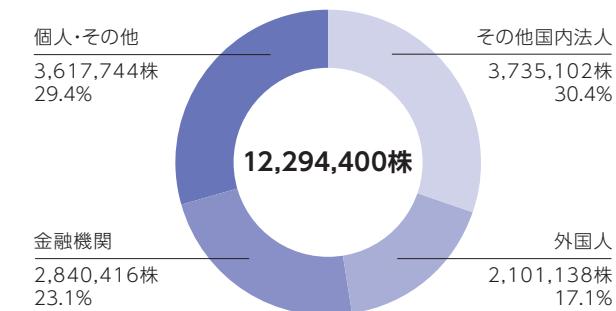
| 株主名 | 所有株数(株) | 持株比率(%) |
|---|-----------|---------|
| 一般財団法人小林理学研究所 | 3,130,700 | 25.50 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 569,100 | 4.64 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 528,900 | 4.31 |
| リオン取引先持株会 | 488,700 | 3.98 |
| NORTHERN TRUST CO. (AVFC)SUB A/C NON TREATY | 233,100 | 1.90 |
| J.P.MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A.1300000 | 216,241 | 1.76 |
| リオン従業員持株会 | 212,500 | 1.73 |
| 株式会社みずほ銀行 | 210,000 | 1.71 |
| 三井住友信託銀行株式会社 | 200,000 | 1.63 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) | 179,200 | 1.46 |

(注) 持株比率は、自己株式17,202株を控除して計算しております。

取締役および監査役 (2019年6月25日現在)

代表取締役社長 …… 清水 健一
 常務取締役 …… 岩橋 清勝
 取締役 …… 若林 友晴
 取締役 …… 加藤 公規
 社外取締役(独立役員) …… 築野 元則
 社外取締役(独立役員) …… 河口 正人
 社外取締役(独立役員) …… 芳賀 圭子
 常勤監査役 …… 山内 和臣
 社外監査役(独立役員) …… 石谷 勉
 社外監査役(独立役員) …… 佐久間 善弘

所有者別株式分布状況(持株数)



株主メモ

Stock Information

| | |
|---------------------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月下旬 |
| 基準日 | 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先(電話照会先) | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。 |
| 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について | 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。 なお、株券電子化の際、株券を証券会社の口座に入庫しなかったなどの理由により、特別口座において管理されている株式につきましては、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。 |
| 未払配当金の支払について | 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。 |



2018年度開催実績

| 2018年 | | | |
|-------|----------------------|--------|-----------------------|
| 4月27日 | 2018年3月期決算発表 | 9月28日 | 株主様向け会社見学会 |
| 5月17日 | 2018年3月期決算説明会 | 10月10日 | 株主様向け「はじめての補聴器講座」(大阪) |
| 6月26日 | 第97期定時株主総会 | 10月30日 | 2019年3月期第2四半期決算発表 |
| 7月30日 | 2019年3月期第1四半期決算発表 | 11月16日 | 2019年3月期第2四半期決算説明会 |
| 2019年 | | | |
| 1月30日 | 2019年3月期第3四半期決算発表 | 4月26日 | 2019年3月期決算発表 |
| 2月9日 | 個人投資家向け会社説明会(東京) | 5月16日 | 2019年3月期決算説明会 |
| 3月7日 | 株主様向け「リオネット補聴器工場見学会」 | | |

音を科学する

「音」を科学することで
様々な製品を
生み出してきたリオン。
このコーナーでは
「音」の不思議な力、
素朴な疑問を
紐解いていきます。

音から耳をまもる道具

研究室の古い実験道具に紛れて転がり出てきた、指先ほどの大きさの得体の知れない塊。調べてみると、真綿にパラフィンをしみ込ませた手造りの耳栓と判明しました。指先で揉むとパラフィンが溶け、つきたての餅のように柔らかくなり、形を整えて耳の孔にびたりと収めることができます。音響専門の研究室なので、強烈な音から耳を守りたくなる実験もあったのでしょうか。

激しい騒音から聴覚機能を護るための道具が「防音保護具」で、耳栓もその一つです。耳の孔に装着しても違和感が少なく、効果的に音を遮断できるように材料や形状を工夫した様々な耳栓が開発、市販されています。

耳栓は、外耳道を塞いで鼓膜に届く音を妨げるものですが、中耳や内耳に侵入する音の経路は、外耳道だけではありません。頬骨の後ろ付近を指先で叩いた時のポコポコという音は、耳栓を装着していても聴こえます。このことは、外耳道を経由せず、耳の周囲の組織を貫いて伝わる音の経路が存在することを示しています。



そのため極端に大きな音に曝されるような作業場では、耳栓だけではなく、耳の周囲を広く覆う防音保護具が必要となります。それが「イヤーマフ」です。例えば空港では、航空機の機体整備を行う作業者がこのイヤーマフを装着し、ジェットエンジンの強烈な騒音から耳を防御している様子が見られます。

監修：工学博士 山下充康
出典：謎解き音響学(丸善)

株主優待制度のご案内

期末配当基準日(3月31日)現在の株主様を対象に株主優待を実施しております。

ジェフグルメカード(食事券)



| | |
|-------------|----------|
| 100株以上 ▶ | 500円分 |
| 500株以上 ▶ | 1,500円分 |
| 1,000株以上 ▶ | 3,000円分 |
| 5,000株以上 ▶ | 5,000円分 |
| 10,000株以上 ▶ | 10,000円分 |

【追加】100株以上かつ3年以上継続保有※ ▶ 1,000円分

※同一の株主番号で、毎年3月末と9月末の株主名簿に7回以上連続で記録された株主様を3年以上継続保有とみなします。

リオネット補聴器購入割引券



100株以上

※メーカー希望小売価格の
10%割引
(片耳購入の場合は1台分)
(両耳同時購入の場合は2台分)

有効期間：1年間

リオン株式会社 〒185-8533 東京都国分寺市東元町3-20-41
TEL.042-359-7830(リオン株式会社 総務部 IR広報課)

<https://www.rion.co.jp>

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

